

**横浜冷凍株式会社第1回無担保社債（劣後特約付）
（サステナビリティボンド）の引受けについて**

今般、みずほ証券株式会社（取締役社長：浜本 吉郎）は、横浜冷凍株式会社が発行するサステナビリティボンド（以下「本サステナビリティボンド」といいます。）の引受主幹事を務めましたので、お知らせいたします。

本サステナビリティボンドで調達された資金は、全額を適格クライテリアを満たすプロジェクトである気仙沼ソーティングスポットⅡ、長崎ソーティングスポットおよび福岡 ISLAND CITY 物流センターの建設に係るリファイナンス資金に充当する予定です。

横浜冷凍株式会社は、本社債を含むサステナビリティボンドの発行のために「グリーンボンド原則 (Green Bond Principles) 2021 年版」^{※1}「ソーシャルボンド原則 (Social Bond Principles) 2021 年版」^{※2}「サステナビリティボンド・ガイドライン (Sustainability Bond Guidelines) 2021 年版」^{※3}などに即したサステナビリティボンド・フレームワークを策定し、その第三者評価として株式会社日本格付研究所から「JCR サステナビリティボンド評価」^{※4}の最上位評価である「SU1」を取得しています。

当社は、社会と〈みずほ〉の持続的な発展に向けて、金融機関として貢献すべき取り組みを積極的に推進しており、資本市場における SDGs 債の専門的な情報収集・お客様の SDGs 債ストラクチャリングを支援するため、2017 年にサステナブル・ファイナンス・デスク、2019 年にサステナブル・ファイナンス室を設置しました。また、環境金融における専門性を高めるため、グリーンボンドの認証制度および気候変動対策投資を推進する国際 NGO である Climate Bonds Initiative^{※5} とパートナー契約を締結しています。その後 2021 年から、これらの取り組みをさらに強化・拡大するため、サステナビリティ推進部を新設しています。

これらの取り組みにより、当社はサステナビリティボンド等の引受けなど、さまざまなお客様の SDGs 債の起債を支援し、ストラクチャリングなどを通してお客様の社会貢献への取り組みを全面的に支援しています。

当社は、日本の円建て債券市場でトップティアの取引シェアを確保しています。また、海外市場では、お客様のさまざまなニーズに応えるためのクロスボーダー債券取引を強化し、実績も着実に増加しています。

当社はグループの総合力を活用し、今後もお客様の金融取引を通じた社会貢献への取り組みをサポートし、SDGs 債をはじめとする債券の引受けを一層推進し、最良のサービスを提供してまいります

以 上

- ※1 「グリーンボンド原則(Green Bond Principles)2021年版」とは、ICMA が事務局機能を担う民間団体であるグリーンボンド・ソーシャルボンド原則執行委員会(Green Bond Principles and Social Bond Principles Executive Committee)により策定されているグリーンボンドの発行に係るガイドラインをいいます。
- ※2 「ソーシャルボンド原則(Social Bond Principles)2021年版」とは、ICMA が事務局機能を担う民間団体であるグリーンボンド・ソーシャルボンド原則執行委員会(Green Bond Principles and Social Bond Principles Executive Committee)により策定されているソーシャルボンドの発行に係るガイドラインをいいます。
- ※3 「サステナビリティボンド・ガイドライン(Sustainability Bond Guidelines)2021年版」とは、ICMA により策定されているサステナビリティボンドの発行に係るガイドラインをいいます。
- ※4 「JCRサステナビリティボンド評価」とは、サステナビリティボンドの発行により調達される資金がグリーンボンド原則及びソーシャルボンド原則に例示されるプロジェクト等に充当される程度並びに資金用途等に係る管理、運営及び透明性確保の取り組みの程度に関する、JCRの総合的な意見の表明です。
- ※5 ロンドンに拠点を置く国際的な組織で、100兆円の債券市場を気候変動対策のために活用することを目的とし、低炭素・気候耐久経済への迅速な移行のために必要なプロジェクトや資産への投資を促進する活動を行っています。